

# OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) I.K.  
所属 (School) 農学部 応用生物科学科  
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)  
全北大学

留学期間 (study abroad period)  
2023/2/12~2023/2/25

記入日 (Date) 2023/3/3

## 留学レポート Study Abroad Report

### 1. はじめに

私が今回の研修に参加したのはほんの些細なきっかけからでした。大学に入り、第2外国語としてどの言語を選択しようか迷っていましたが、日本から一番近い国で日本語と語順が似ていて理解しやすい韓国語を選択することになりました。学んでみると、やはり内容が理解しやすく、学べば学ぶほど楽しく感じるようになってきました。そこで、このような留学の機会があると知った私は、友達からの誘いもあり、せっかくだから参加してみようかと決心しました。初めての海外ということもあり、始めは不安だけでしたが、本大学の先生や研修先の大学の先生方にお世話していただき、多くの新たな経験をし、楽しみながら学びを深めることができました。このような自分の視野を広げる体験は大切だと感じたので、これからもこのような機会があれば積極的に参加し、世界に目を向けて様々なことを学んでいきたいと考えています。

### 2. 全北大学での授業

私は、何せ韓国語を学び始めて約1年ですし、初修外国語の授業は週一回コースだったので、韓国語を聞き取れる自信もなく、韓国語のみで進行していく授業は正直不安でした。案の定、始めはなかなか先生の話の聞き取ることができず、授業についていくのが大変でした。初回授業の時に韓国語で自己紹介をする機会があったのですが、その時も文を考えてそれを見ながら発表するのがやっとのことでした。しかし、授業では研修先の先生がゆっくりと丁寧にジェスチャーを使って説明してくれたので徐々に韓国語を聞き取ることができるようになり、日が経つごとに授業が楽しく感じるようになりました。また、先生の話の中で分からない言葉が出てきた時は随時調べることで、会話の中でよく出てくる表現などを授業を通じて学んでいくことができました。授業内容は、この語学研修2週間を韓国で過ごす時に使えるような日常会話を中心に扱ってくれました。漢数詞と固有数詞のところはかなり苦戦しましたが、研修中お店に行った時に覚えたフレーズを実際に使うことができたのは大きな収穫だったと思います。

また、研修先の日本語学科の方々との交流では、韓国と日本の文化の相違点などを話し合うことで価値観の違いなどを学ぶことができました。



### 3. 文化体験

今回の研修では韓国でしか体験できないような様々な文化体験をすることができ、毎日がとても充実していました。以下、私が体験した文化体験を順に詳しく紹介していこうと思います。

まずは、韓屋村での体験です。韓屋村は韓国の伝統的な家屋が立ち並んでおり、そこで韓国の伝統衣装であるチョゴリを着ることができました。チョゴリを着たまま韓屋村を歩くのは少し恥ずかしかったですがいい体験ができたと思います。

次は、ソウルツアーです。ソウルツアーは2日間あったのですが、1日目はソウルタワーを見に行きました。夜に行ったのでソウルの夜景とともにライトアップされたソウルタワーを見ることができました。とてもきれいでした。2日目は、景福宮に行きました。景福宮は朝鮮王朝の法宮であり、休憩をする場所、料理をする場所、宴会をする場所など用途に応じて建物が決められていたようです。研修先の事務の方がガイドをしてくれたので、そこで様々なことを学ぶことができました。

最後は、テコンドー体験です。テコンドーを体験する場所に到着し、まずは、テコンドー博物館でテコンドーの歴史について学びました。テコンドーがどのようにしてオリンピック競技になっていったのかやユニホームの変遷などを学びました。その後、ユニホームに着替えてテコンドーの体験に移りました。テコンドーの体験と言っても戦うのではなく、テコンドーの形が組み込まれたダンスを音楽に合わせて踊るという感じでした。予定表では1日テコンドー体験となっていたので形からしっかり学んで最後は戦うのかと心配していましたが、楽しく終わることができて良かったです。



### 4. 韓国料理

研修中、様々な韓国料理を楽しむことができました。全体的な感想としてはやはり辛かったということです。食事を終えた後に皿を見ると赤いというのが毎食の鉄則のような感じでした。研修先の事務の方は、韓国人は辛い食べ物を日頃からよく食べているので日本人の辛いという感覚と韓国人の辛いという感覚が違うのかもしれないと言っていました。しかし、研修先の日本語学科の方々の中には辛いのはあまり得意ではないと言っていた方もいたので、やはり人それぞれなんだなと感じました。私が特に辛いと感じたのは、牛肉ラーメンと牛肉クッパです。ラーメンが辛いとは思ってもみなかったのですがとても驚きました。クッパは牛肉クッパと豆もやしクッパを食べましたが、豆もやしクッパのほうが辛みはましかったです。私のお気に入り、研修先の大学周辺にあるお店で食べたビビンバとサムギョブサルです。ビビンバはいろいろな具材が入っていてとても美味しかったです。また、韓国はチョコパイが有名なので近くのパン屋さんでチョコパイを買って食べました。中がマッシュマロタイプとクリームタイプがあり、私は両方食べましたがどちらもとても美味しかったです。辛い物を食べた後にもってこいのお菓子だと思っています。



### 5. まとめ

この研修を通じて、韓国語のみならず、日本と韓国の価値観や文化の共通点や相違点など様々なことを学ぶことができました。また、韓国でしか体験できないようなたくさんの経験をすることができ、とても充実した2週間を過ごすことができました。これからも、様々なことに興味を持ち、積極的に海外に行くことで自分の視野を広げるとともに、世界の今を肌で感じながら学びを深めていこうと思います。